

# 経営計画

management plan

【令和7年度～令和9年度】

令和7年6月

千葉県道路公社

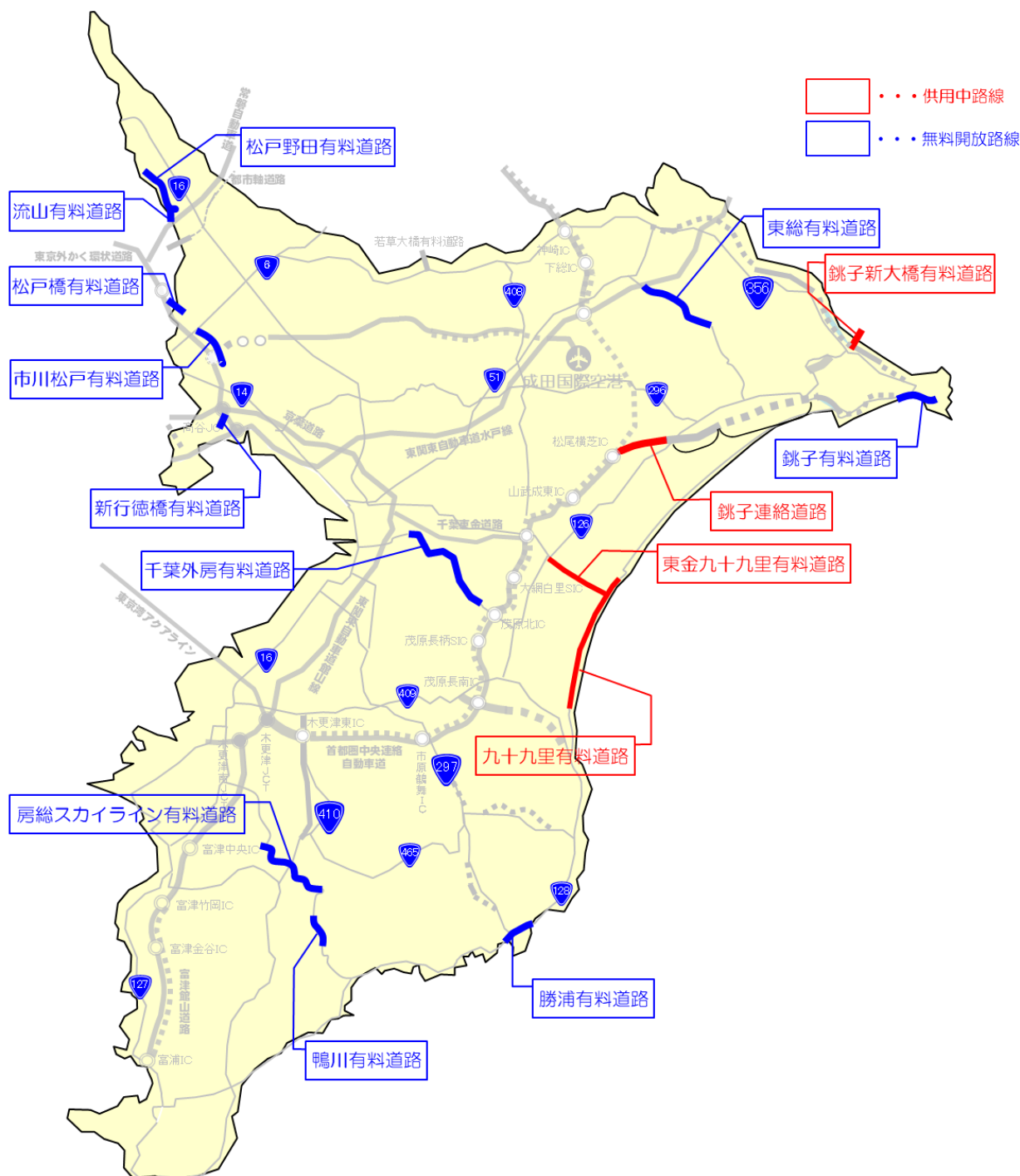
## ■ 目 次

I	はじめに .....	P1
II	基本方針 .....	P2
III	計画期間 .....	P3
IV	事業概要 .....	P3~P5
V	経営状況 .....	P6~P8
VI	計画の取り組み .....	P9~P13

# 1. はじめに

千葉県道路公社は、千葉県の区域及びその周辺の地域において、その通行又は利用について料金を徴収することができる道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、この地域の地方的な幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与することを目的として、昭和46年5月に千葉県により設立されました。

当公社では、15路線104.4km、997億円の有料道路事業費により整備を行い、これまでに11路線を無料開放し道路管理者へ引き継いでいます。現在は、道路整備特別措置法に基づく有料道路として、東金九十九里有料道路、銚子新大橋有料道路、銚子連絡道路の3路線、道路運送法に基づく有料道路として九十九里有料道路の1路線、計4路線、延長34.8kmの有料道路の管理運営を行っております。



## 2. 基本方針

公社を取り巻く環境は、人件費やガソリンなどの物価高騰、周辺地域の人口減少や高齢化、また、在宅勤務を始めとした働き方の多様化に伴う人の行動減少など依然厳しい状況にあります。

また、橋梁など、構造物の定期点検費用や長寿命化修繕計画に基づく修繕工事費用など、当初の計画には見込んでいなかった費用が発生し、経営を圧迫している状況です。

このような状況の中、時代の変化に適切に対応し、今後3カ年の計画では2つの基本方針を定め、利用者への一層の安全・安心な道路環境の提供や更なるサービスの追求、公社経営の一層の健全化を目指し、必要な方策を講じていきます。

### ◆基本方針1 通行の安全性・快適性の確保

- ・長寿命化修繕計画に基づき、定期点検や修繕等を的確に行い、通行の安全・安心を確保します。
- ・料金所や休憩所等のサービス向上とともに、環境負荷の低減に取り組みます。

### ◆基本方針2 経営の健全化を推進

- ・利用促進を行い収益向上を図るとともに、コスト縮減を行い、経営の健全化に取り組みます。

### 3. 計画期間

令和7年度から令和9年度の3ヶ年とします。

なお、事業環境の変化などにより、当公社の経営に大きな変更が見込まれる場合は、その都度、本計画の見直しを図ります。

### 4. 事業概要

#### 4-1 道路管理運営事業

道路利用者に、より安全・安心、そしてより快適な道路環境の提供を目指し、日々、道路の維持管理及び通行料金収受を行っています。

【管理路線一覧表】

有料道路名	区 間		延 長 (km)	事業費 (百万円)	供用開始 年 月 日	許可法令
東金九十九里有料道路	起点 終点	東金市 台方 山武郡九十九里町 真亀	10.0	7,000	H10.3.20	道路整備 特別措置法
銚子新大橋有料道路	起点 終点	千葉県銚子市 小船木町 茨城県神栖市 矢田部	1.7	9,950	H12.3.18	道路整備 特別措置法
銚子連絡道路	起点 終点	山武郡横芝光町 芝崎 山武市松尾町 谷津	5.9	6,000	H18.3.25	道路整備 特別措置法
九十九里有料道路	起点 終点	長生郡一宮町 新地 山武郡九十九里町 片貝	17.2	4,000	S47.6.17	道路運送法
		合 計	34.8	26,950		

#### 4-2 附帯事業

有料道路利用者へのサービスとして、駐車場及び休憩施設の管理・運営を行っています。

【附帯施設一覧表】

施設名	有料道路名	施設等	駐車台数
福俵駐車場	東金九十九里有料道路	トイレ・自動販売機	23台
今泉駐車場	東金九十九里有料道路	トイレ・自動販売機	15台
一宮駐車場 (一宮休憩所)	九十九里有料道路	食堂・売店・トイレ・自動販売機	35台



### 4-3 受託事業（銚子連絡道路二期事業）

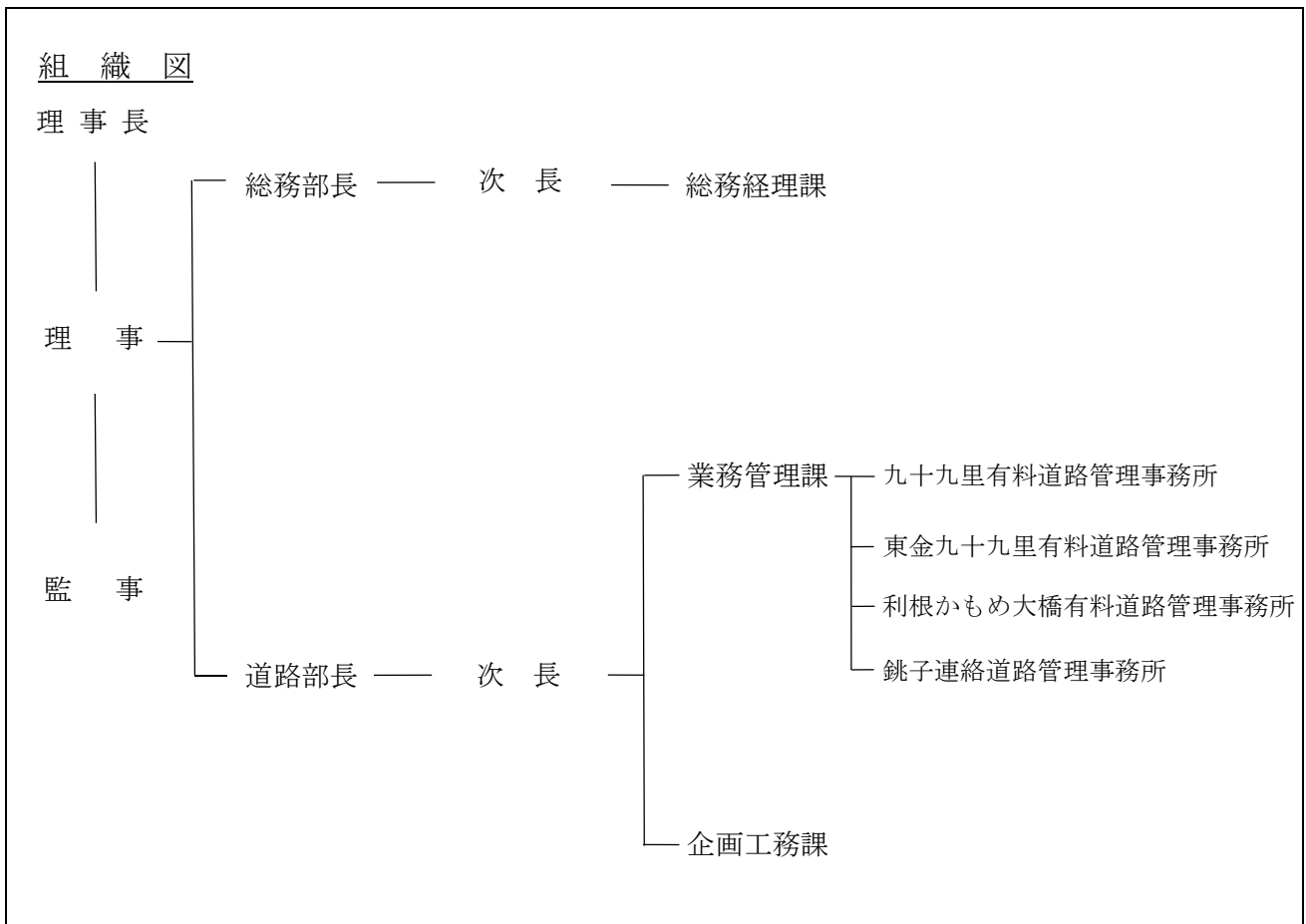
銚子連絡道路は、銚子市と山武市を連結し、山武・東総地域の道路ネットワークの骨格となり、首都圏中央連絡自動車道等の高規格道路と一体となって機能しております。銚子連絡道路一期区間（山武郡横芝光町芝崎～山武市松尾町谷津）は、平成18年3月に有料道路として、延長5.9kmについて供用を開始しました。この一期区間に続く銚子連絡道路二期区間（匝瑳市横須賀から山武郡横芝光町芝崎）延長5.0kmについて、平成22年度より千葉県から受託し整備を進め、令和6年3月31日に供用を開始しました。令和6年度以降も、関連する側道部や町道部の整備について、引き続き千葉県から受託し実施しています。

また、供用開始した二期区間（L=5.0km）のパトロール業務を、千葉県から受託し実施しているところです。



## 4-4 道路公社の体制

(令和7年度)



### 【役職員数】

①役員	理事長	1人
	理事	2人（うち常勤1人、非常勤1人）
	監事	2人（うち非常勤2人）
②職員		28人（うち嘱託6人）

## 5. 経営状況

### 5-1 東金九十九里有料道路

東金九十九里有料道路は、東金市台方から山武郡九十九里町真亀までを結ぶ、延長10kmの有料道路です。本有料道路は、東金から九十九里間の交通緩和、周辺地域の生活環境の向上並びに地域産業・経済の活性化を図るため、平成10年3月20日に供用を開始し、有料道路終点部では、ジャンクション形式で九十九里有料道路に接続することで、一宮方面へのアクセスが一段と向上しました。

直近3年間の交通量は、年間平均で約4,900台/日で推移しています。

#### 【交通量】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
平均交通量	5,116台/日	4,894台/日	4,764台/日
前年比	100.2%	95.7%	97.3%

### 5-2 銚子新大橋有料道路

銚子新大橋有料道路は、銚子市小船木町から茨城県神栖市矢田部までを結ぶ、延長1.7kmの有料道路です。利根川を渡河する本有料道路は、銚子大橋の混雑解消はもとより、千葉県東総地域と茨城県鹿行地域を結ぶ幹線道路として、両県の地域発展に寄与するため、平成12年3月18日に供用を開始しました

直近3年間の交通量は、年間平均で約3,600台/日で推移しています。

#### 【交通量】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
平均交通量	3,650台/日	3,543台/日	3,603台/日
前年比	97.6%	97.1%	101.7%

### 5-3 銚子連絡道路

銚子連絡道路は、山武郡横芝光町芝崎から山武市松尾町谷津までを結ぶ、延長5.9kmの有料道路（自動車専用道路）です。本有料道路は、一般国道126号のバイパスとして首都圏中央連絡自動車道と銚子市を結ぶ高規格道路であり、周辺地域における工業団地への企業立地促進や銚子漁港から東京市場への流通経路確保など、山武・東総地域の活性化を図るとともに、一般国道126号の慢性的な渋滞を解消するため、平成18年3月25日に供用を開始しました。

交通量は、銚子連絡道路二期区間の開通（令和5年度末）により、令和5年度と比較して7.7%増加しております。

#### 【交通量】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
平均交通量	5,537台/日	5,486台/日	5,911台/日
前年比	104.7%	99.1%	107.7%

## 5-4 九十九里有料道路

九十九里有料道路は、長生郡一宮町新地から山武郡九十九里町片貝までを結ぶ、延長17.2kmの有料道路です。本有料道路は九十九里海岸の観光発展や地域産業・経済の活性化に寄与するため、昭和47年6月17日に供用を開始しました。また、平成9年度には、東金九十九里有料道路の開通とジャンクション形式での接続によって、利便性が一段と向上したところです。

直近3年間の交通量は、年間平均で約1,700台/日で推移しています。

### 【交通量】

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
日当り交通量	1,751台/日	1,678台/日	1,676台/日
前年比	103.6%	95.8%	99.9%

## 5-5 収支状況

### 【収支状況（損益計算）】

(百万円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
料金収入	1,312	1,275	1,302
その他収入 <sup>※1</sup>	5	4	10
収益計	1,317	1,279	1,312
維持管理費	149	146	200
業務管理費	520	518	559
一般管理費	169	213	232
その他費用 <sup>※2</sup>	302	272	269
費用計	1,140	1,149	1,260
当期収支差 (償還準備金繰入額+当期利益)	177	130	52

※収支状況は、千葉外房有料道路(令和4年度無料開放)を除いた現所管4路線の合計額である

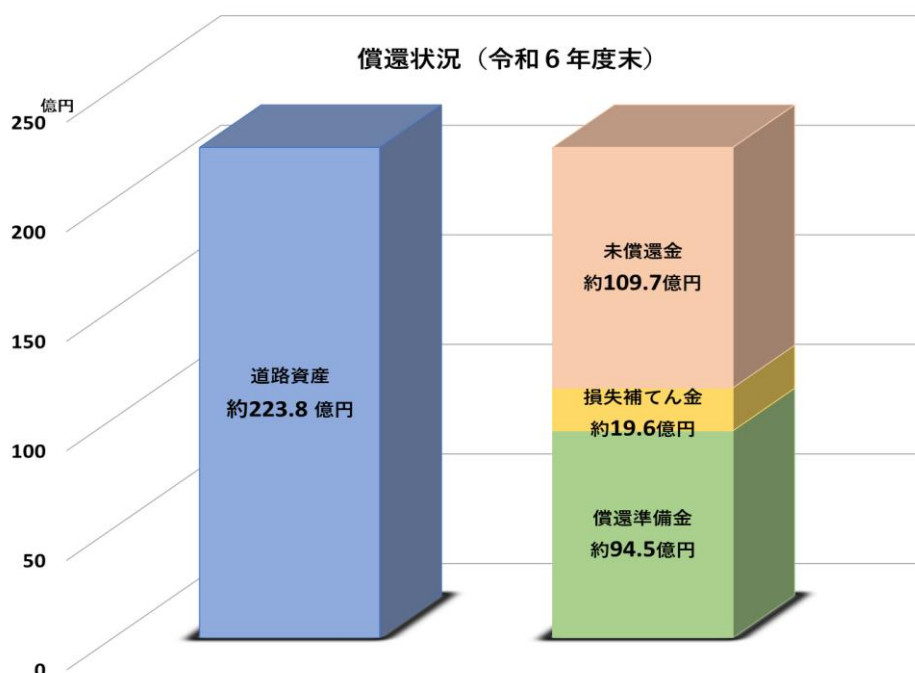
※1: 占用料、道路使用料等

※2: 減価償却費、損失補填引当金、支払利息等

## 5-6 借入金の償還状況

令和6年度末での道路整備特別措置法に基づく3路線の道路建設費に相当する道路資産額は、約223.8億円です。

令和6年度末での、償還状況を示す償還準備金（各年度に借入金返済に充てた金額の累計額）は、令和6年度末で約94.5億円となっています。



## 5-7 今後の収支計画

本計画における、今後の収支計画は以下のとおりである。

健全な経営を目指し、県との更なる連携強化を図るとともに、本計画に基づく経営改善に取り組んでいきます。

【収支計画（予測損益計算）】

（百万円）

	令和7年度 （見込額）	令和8年度 （見込額）	令和9年度 （見込額）
料金収入	1,303	1,303	1,314
その他収入	4	4	4
収益計	1,307	1,307	1,318
維持管理費	160	157	188
業務管理費	543	543	543
一般管理費	254	240	245
その他費用	257	256	256
費用計	1,214	1,196	1,232
当期収支差 （償還準備金繰入額＋当期利益）	93	111	86

※収支計画は、現所管4路線の合計額である

## 6. 計画の取り組み

### 6-1 通行の安全性・快適性の確保

#### 6-1-1 安全・安心に利用できる道路環境の提供

##### (1) 安全・安心な道づくり

- ・ お客様が安全に走行できるように、道路パトロールを的確に実施し、損傷等の早期発見に努め、速やかに修繕していきます。
- ・ 通行止め等の交通情報を、ホームページを使用して速やかに利用者へ提供します。

##### (2) 計画的な維持管理

- ・ 5年ごとの定期点検を着実に実施するとともに、個別施設ごとの長寿命化修繕計画に基づき、計画的な維持管理を実施していきます。
- ・ 車両が安全に走行するために、見通しや、交通標識等の視認性の確保のため、雑草繁茂や種子の侵入を防ぐ防草対策を推進します。

##### ◆ 施工イメージ



##### (3) 橋梁の耐震化

- ・ 緊急輸送道路としての機能が十分発揮できるよう、必要な橋梁の耐震補強を計画的に進めます。

##### ◆ 施工イメージ

[変位制限装置]



[橋脚部補強]



#### (4) 危機管理

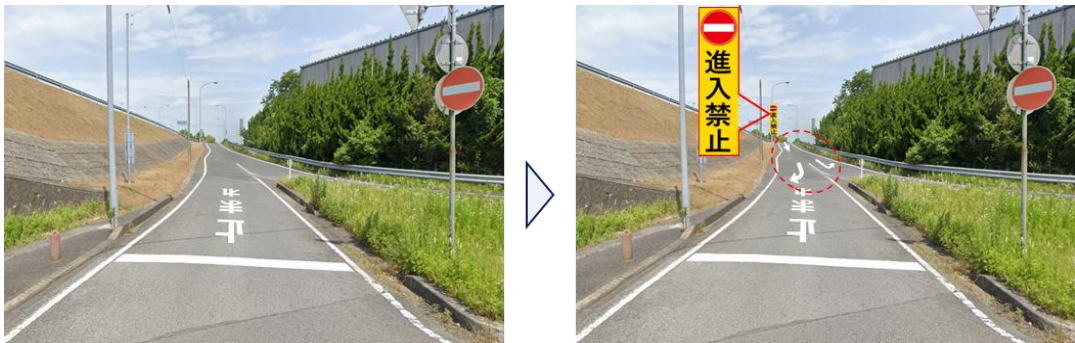
- ・災害等に対して、速やかに応急・復旧対策をとれるよう管理体制を構築するとともに、「事業継続計画（BCP）」に基づき、事業の早期再開を図ります。
- ・首都直下地震を含む大規模災害が発生した際に、緊急車両などの通行のため、千葉県道路啓開計画に基づき、救命・救援ルートを迅速に確保します。

#### (5) 交通事故防止の取組

- ・重大な事故へ繋がる逆走防止対策を実施していきます。

##### ◆対策案イメージ

矢印路面標示、注意喚起看板（IC出口）



- ・安全運転の啓発活動の一環として、春夏秋年末の交通安全運動など交通安全啓発活動に取組みます。

### 6-1-2 利用者のニーズに応えた快適性と低炭素化への取組

#### (1) 料金所や駐車場、休憩施設等における快適性

- ・お客様サービスに対する意識向上に努め、料金所等での丁寧な対応を徹底します。
- ・駐車場や休憩施設等を、お客様がより快適に利用していただけるよう努めます。特にトイレについては、清掃等を徹底します。
- ・一宮休憩所において、周辺観光施設等のパンフレット、割引券等を設置し利用者サービスに努めます。

#### (2) ネットワーク型ETC等の導入検討

- ・料金キャッシュレス化・タッチレス化を推進するため、ネットワーク型ETC等の導入について検討していきます。

#### (3) LED照明灯への切り替え

- ・道路照明灯については、順次LED照明に切り替え、カーボンニュートラルに取り組めます。

## 6-2 経営の健全化

### 6-2-1 有料道路の利用促進と増収対策

#### (1) 観光施設等と連携した広報活動

- ・ 公社パンフレットについて、利用促進に繋がる効果的な配布先を検討します。
- ・ 有料道路の領収書を活用した周辺観光施設等とのタイアップなど、地域と一体となった利用促進を図ります。

#### (2) 地域と連携した広報活動

- ・ 有料道路や周辺で開催される地域の各種イベントへ参加することで、有料道路の魅力を発信し利用促進を図ります。

◆ 有料道路を利用して行われているイベント状況

[九十九里トライアスロン 2024]



【2025 東金・九十九里波乗りハーフマラソン】



※いずれも、九十九里有料道路、東金九十九里有料道路を使用して開催されました。

#### (3) 広報の充実・強化

- ・ 有料道路の利用促進のため、ホームページやSNSを随時更新し、最新の観光施設等の情報や有料道路に関わる情報をわかりやすく提供するとともに、有料道路を使用したフィルムコミッションへの協力など、幅広い広報を図ります。

#### (4) 増収対策

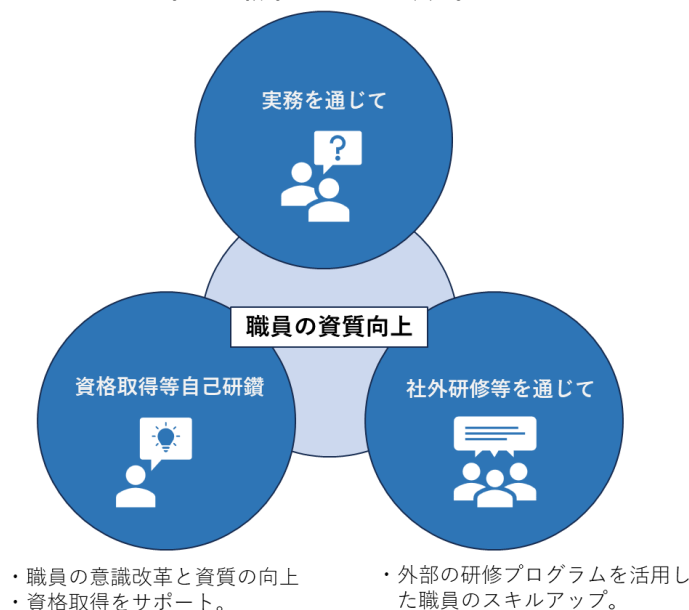
- ・ 公社有料道路へ誘導する案内看板の追加、沿線企業、観光施設、物流、自動車交通機関へのPR並びに回数券販売の促進を図ります。

## 6-2-2 経営基盤の強化

### (1) 組織と人員体制の充実

- ・今後の、有料道路事業の業務量と収支の均衡がとれた、人員体制を構築していきます。
- ・「千葉県道路公社コンプライアンス基本指針」や「千葉県道路公社情報セキュリティ基本方針」に基づく研修会等を開催し、公社職員の意識改革を図るとともに、情報資産の漏洩等を未然に防ぎます。
- ・継続的な成長を実現するため、社内の実務を通じた育成のほか、社外研修や自己研鑽を通じたスキル向上を図り、職員の資質向上に努めます。

・目標チャレンジシート等を活用することで、目標達成までに必要なプロセスを明確化。適時適切な指導・サポートを図る。



- ・夏期休暇の完全取得、有給休暇の積極的な取得を推進することで、ワークライフバランスとれた職場環境づくりに努めます。

### (2) DXの推進

- ・管理事務所からの緊急性の高い道路損傷等報告について、スマートフォンのメッセージアプリを活用し、損傷発見から修繕までの迅速化を図ります。
- ・社内会議等について、WEB会議や、パソコンを用いての会議を推奨し、会議書類等のペーパーレス化を推進します。
- ・建設現場において、スマートフォンやパソコンを活用した遠隔臨場等に取り組み、インフラDXを推進します。

### (3) コスト縮減対策

- ・料金徴収業務や交通管理業務について、より効果的・効率的な業務執行を検討し、コスト縮減を図ります。
- ・新技術、省エネ機器を活用した効率的な維持管理について検討します。

- ・ 銀行借入金の借入期間及び借入手法等について、公社経営の安定化に繋がる調達手段を検討し借入金利の軽減を図ります。
- ・ 「経営改善検討委員会」を開催し、経営改善の対策について、調査・検討を行います。

#### (4) 新規事業等の検討

- ・ 千葉県と連携し、新規有料道路事業の調査・検討を行います。
- ・ 供用中路線の未償還金を縮減するため、様々な手法について調査・検討を行います。

#### (5) SDGsの推進に向けた取り組み

- ・ 経営計画の具体的な取り組みを通して、持続可能な社会の実現に貢献していきます。